

平成30年7月27日

農業技術センター・技術普及部

標 題	H30年島根県産アジサイの出荷実績と今後の展開について
-----	-----------------------------

(ダイジェスト)

島根県アジサイ研究会（以下「アジ研」と略す）では平成24年から県オリジナルアジサイ‘万華鏡’の栽培を始め、7年目を迎えた。この間に、新たにオリジナル2品種を加え、国内の「母の日」需要に向けた販売に力を注いでいる。H30年産出荷実績は、100,500鉢、142,000千円で、前年対比112%の売り上げであった。

アジ研は、H24年産から島根県農業技術センター（以下「農技C」と略す）で育種された県オリジナル品種の栽培に携わり、ジャパン・フラワー・セレクション鉢花部門で最優秀賞を受賞した‘万華鏡’（2012年）、‘銀河’（2016年）を核にした有利販売を続けている。

会員数は初期メンバー6名で始まったが、H30年7月現在では15名まで増加した。H28年からは、「技術・マニュアル」班、「規格・ブランディング」班、「トレサビリティ・検査員」班の各専門部を設け、リーダーを中心に栽培技術向上、販売戦略、出荷検品及びクレーム対応まできめ細かな活動を行っている。現在では全国の25市場に出荷しており、毎年、市場関係者との意見交換会を行って、消費者に良い花を届ける努力も欠かさない。



農技Cでは、育成元として各オリジナル品種の栽培特性に応じた指導を各農業普及部と連携しながら実施している。また、今後、新たに市場に投入する新品种の商品コンセプトについてアジ研と日々協議を重ねている。

今後も、購入いただいた消費者から「島根のアジサイはよかったよ!」と言ってもらえるよう、アジ研会員と切磋琢磨してゆきたい。

